

学校教育目標

- 1 丈夫で明るく はきはきした子ども
- 2 よく考え 進んで工夫する子ども
- 3 みんな仲よく きまりを守り 責任感の強い子ども。
- 4 ものを大切にし 感謝の心をもつ子ども
- 5 進んでみんなのために働く子ども

東柏通信

第7号

平成28年9月15日(木)発行
海老名市立東柏ヶ谷小学校
電話 (046)232-3716

ホームページ

<http://www.touhakyusyo.edu.city.ebina.kanagawa.jp/>

いのち かがやく 東柏っ子 ～いきいき のびのび ちからいっぱい～



【開校40周年キャラクター うさよん】

<よりよく変わろうとする子どもたち>

教育・心理カウンセラーで、不登校支援の専門家である富田富士也氏は、子どもたちが気持ちを切り替え、もう一度やり直そうとするチャンスは5回あると言っています。①1学期の始業式 ②2学期の始業式 ③3学期の始業式 ④自分の誕生日 ⑤節分だそうです。意外なのは「節分」でしょうか。最近は、「節分＝患方巻きを食べる日」になりつつありますが、もとはといえば「豆をまき、邪気を払ってやり直し」という意味があります。長い休みの後でボーっとして、嫌々、学校へ来ている様子の子も中にはいるかもしれません。しかし、1学期の自分や人間関係を帳消しにして、今日からまた、気分一新がんばろうという子どもも少なくありません。私たちにとっても、今までのことはリセット、今日からやり直すんだよ…とお互いの気持ちを整え直すチャンスでもあります。

15日は、1、3、5年、16日は、たんぼぼ、2、4、6年が授業参観・懇談会を行います。学習をはじめ、清掃、休み時間等、子どもたちの頑張っている姿に声をかけてください。また、夏休みの研究・体験記・工作等の作品は力作揃いです。「最後までしっかりまとめていたね。」「発想や色遣いがいいね。」等、子どもたちにも声をかけていただけたら幸いです。<よりよく変わろうとする子どもたち>にスイッチが入るかもしれませんね。

そして、「スポーツ・読書・食欲・学習の秋」です。朝一番、朝日を浴びてセロトニンを出し、前頭葉を活性化して、夜にメラトニンをだし、しっかりと睡眠時間を確保できるような、学校生活、家庭生活を送りたいものです。

さて、2学期は79日間。1年間で一番長く学校生活が続きます。身につけていく力も多くあり、成長する姿も多く見ることができます。ささいなことでも大いにほめて、自己肯定感を感じられるようご家庭でも子どもの様子を見ていただき、楽しいスタートをきってほしいと思います。学校・家庭・地域が手を取り合って、「命ががやく東柏っ子」の育成にご協力・ご理解をお願いします。

<11月からの日課の変更について>

今年度より、学習活動時間の確保と週の時間割のゆとりなどをねらいとして、夏季休業時間の短縮が市内小中学校全19校で同一に実施されました。(今年度は8月29日始業式)

本校は夏季休業期間が短縮となり、授業時間が確保された分を、週の授業時数をカットすることにより、時間割のゆとりと児童の負担軽減を図っていくことにしました。具体的には11月1日(火)から3学期終了まで、下記のように変更しますのでご了承ください。

※1年生・・・月曜日は5校時を4校時。

※2年生・・・火曜日は6校時を5校時。

※3年生・・・木曜日は6校時を5校時。

※4年生、5年生、6年生・・・水曜日は6校時を5校時。

<校庭・体育館の工事>

○夏休みに、以前から要望をしていた、運動場の北側に設置している防球ネットの改修と体育館のトイレを洋式にする工事が終わりました。防球ネットは高さも高くなり、近隣の皆様へはボールが庭に入り込むことを多少防ぐことができます。また、体育館のトイレの洋式化についても避難所開設や団体等に貸し出す時、より気持ちよく使っていただけるようになりました。



<コミュニティスクール>

今年の7月、文部科学省からコミュニティスクールに指定されました。コミュニティスクールとは、学校運営協議会を置く学校のことを指します。学校運営協議会は、学校運営に関して協議する機関で、学校運営の基本方針を承認したり、主体的に意見を述べたりすることができ、保護者や地域住民の方々が一定の権限をもって学校運営に参画する仕組みとなります。東柏ヶ谷小学校では、学校運営協議会のことを「コミュニティスクール推進委員会」と呼んでいます。メンバーは、芳賀敬子元校長（委員長）、蓮沼浩子・折笠麻紀元PTA会長（コーディネーター）、東柏ヶ谷小学校区連絡協議会会長、元学校評議員、自治会、長寿会、青健連、東柏っ子応援団、あそびっ子クラブ、東柏がんばり隊、図書ボランティア、交通安全指導員、PTA（副会長）、学校の代表（尾崎・重岡）、アドバイザーとして高橋典嗣先生（明星大学）の方々が構成されています。

コミュニティスクールの大きな目的は、学校と地域、家庭が連携・協働をし、学校を核として、地域の大人と子どもが学び合い、地域を活性化させることにあります。地域のみなさんと目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育てる「地域とともにある学校」になっていくためにも、今まで以上に地域の方や保護者の方の応援をいただきながらコミュニティスクールを進めていきたいと考えています。地域の方や保護者の方も持っている技術や知識、経験をぜひ子どもたちに還元してほしいと思います。子どもとのやり取りの中で、子どもにとっても、地域の方にとっても、保護者の方にとっても得るものがあるような活動になるよう、これから推進委員会で知恵を出し合い地域の中の学校として進んでいきたいと思っています。

地域連携担当 重岡 慎一郎

<新体力テスト>

10月21日（金）（雨天時12月7日（水））には、第2回新体力テスト大会が開催されます。保護者や地域の方々、大学生のボランティアの方々に協力していただいて実施される新体力テスト大会は、「秋の運動会」に相当する一大体育的行事となっています。

今大会では、1年から6年の子どもたちが15から16人のたて割りグループを作って各種目に取り組みます。6年生が1年生に測定方法を教える姿は、ほほえましいものです。「あんな6年生になりたいな。」身近なお兄さんお姉さんが低学年の目標となって、東柏小のよき伝統が下級生に引き継がれていきます。

また、各種目の測定には、地域の方や保護者の方、大学生ボランティアの方が協力してくださいませ。たくさんの方に支えられていることを実感するとともに、子どもたちには感謝の心が涵養されていくことでしょう。

新体力テスト大会には、運動に親しむというねらいのほかに、心を育むねらいがあります。ぜひ、たくさんの方のご参加をいただき、子どもたちのよりよい成長のために運営のお手伝いをしていただきたいと思います。子どもたちのキラキラとした笑顔が待っています。当日の参加をお待ちしています。

体育担当 青山 明裕

